

知事は道民の命を守れ

高橋知事の「泊原発3号機の営業運転再開容認」に対する自治労北海道本部抗議声明

高橋知事は、8月17日、泊原発3号機の営業運転再開について「容認する」考えを表明した。前日、知事が出席して開催された道議会「産地地域振興・エネルギー問題調査特別委員会」では、「住民合意」や「道民の不安の解消」の必要性など慎重論が相次いだにもかかわらず、「容認」に踏み切ったことは、「再開ありき」の道民不在・議会軽視といわざるを得ない。

一方で、知事は、北海道地域防災（原子力防災）計画の見直しに言及しているが、その見直しにあたっては「国の事故の調査結果を待つ」としているにもかかわらず、国の調査結果やEPZ範囲が明らかとなっていない中で4か町村の意見聴取で終始し、近隣自治体には情報提供のみとしている。さらに、計画の見直しにあたって明らかとなった避難経路の確保をはじめ、地域住民に直接影響のある課題の克服もされていない中で、営業運転再開容認の判断は、「計画の見直しは慎重に、北電や国の要請には早期に応える」政治手法にしか映らず、道民の不安が払拭されていない中で、電力不足への懸念と経済性を優先した「軽率な判断」と言わざるを得ない。

国においては、福島第一原子力発電所事故の放射能汚染が拡大するなど依然として深刻な状況が続く中、事故の原因調査もすすんでいない。さらに国が全原発の安全性を総合的に評価する「ストレステスト」の実施を決定する中で、経済産業省は、泊原発3号機の5カ月に及ぶ「調整運転」を「異例の事態」として、北電に対し再三「最終検査を申請するよう」指導してきた。北電も道民の「安心・安全」よりも「営業運転」を重視し、北海道の同意のない中、一方的に最終検査を申請した。また、高橋知事も、国の「回答」を待つ姿勢に終始し、自ら率先して道民の安全を守るといふ姿勢を欠いてきた。

国民の原子力政策に対する不信・不安は頂点に達しており、約7割が「脱原発」を支持している。

8月15日に出された北海道大学大学院経済学研究科吉田文和教授を代表者とする道内50人の学者による緊急声明においても、北電が示した泊原発3号機の「安全性向上対策」に触れ、緊急度の高い対策にもかかわらず、2年から4年を目標とした対策であり、電力会社の予算制度にしたがった緊縮感の欠如した緩慢な対策と指摘している。また、北海道においても「原子炉の一時停止」を含む安全協定の重要な当事者でありながら、北電の対応への要望や対策がないこと、ましてや、事故後、日本で初めての営業運転開始となることから、従来の形式的な検査適合性以上の判断と厳しい安全運転条件が求められていることを指摘している。

こうした中で、高橋知事が、全国初の「再稼働」となる泊原発3号機の「営業運転再開容認」は断じて許すことはできない。道民に説明責任も果たしていない知事の判断に対して強く抗議するものである。

自治労北海道本部は、泊原発3号機の営業運転の即刻停止を求めるとともに、引き続き、「3号機プルサーマル計画の撤回」や「泊原発の段階的運転停止」、さらには、政府の原発推進政策から再生可能な自然エネルギー政策への転換を求め、広範な脱原発運動を展開していく。

2011年 8月18日

自治労北海道本部 執行委員長 山上 潔

福島第一原発事故後、依然として収束のめども、事故の原因調査も進まない中、高橋知事は、運転再開について「容認する」考えを表明した。

8月15日、道内の研究者50人が「3号機の無条件再開」を主張する意思はなかった。

福島の第一原発事故後、依然として収束のめども、事故の原因調査も進まない中、高橋知事は、運転再開について「容認する」考えを表明した。

8月4日、広島県立総合体育館の「核兵器廃絶2011平和ヒロシマ大会」では、川野原水禁議長が「核兵器にとらわれず、核問題として原発問題に対してもこの大会に位置づけ」と訴えた。

8月4日、広島県立総合体育館の「核兵器廃絶2011平和ヒロシマ大会」では、川野原水禁議長が「核兵器にとらわれず、核問題として原発問題に対してもこの大会に位置づけ」と訴えた。

8月4日、広島県立総合体育館の「核兵器廃絶2011平和ヒロシマ大会」では、川野原水禁議長が「核兵器にとらわれず、核問題として原発問題に対してもこの大会に位置づけ」と訴えた。

8月4日、広島県立総合体育館の「核兵器廃絶2011平和ヒロシマ大会」では、川野原水禁議長が「核兵器にとらわれず、核問題として原発問題に対してもこの大会に位置づけ」と訴えた。



JICHIRO スケジュール	
9月	
10日(土)	道本部青年部第26回定期総会(～11日、札幌市) 公衆衛生病院集會(札幌市) 公共民間労組協議会第17回総会(札幌市)
11日(日)	公共民間労組協議会学習会(札幌市) 衛生医療評議会総会(札幌市)
17日(土)	道本部女性部第26回定期総会(～18日、札幌市) 道本部介護集會(札幌市)
18日(日)	さようなら原発1000万人アクションin北海道(札幌市)
19日(月)	さようなら原発1000万人アクション9.19全国集會(東京)

道本部ホームページ

自治労北海道 検索 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

泊原発2号機が8月26日、定期検査のため運転を停止した。いよいよ高橋知事が「容認」した3号機のみ稼働となった。思えば、1989年の1号機稼働まで北海道には原子力での発電はなかった。当時、精一杯反対運動を取り

朝風

組んだ結果の原発稼働だった。福島第一原発の事故で気づいたことは、まだまだ、その運動が不足していたということだろう。『さようなら原発1000万人アクション』では、フクシマの現実を直視した悔いのない取り組みが必要だ。

再生可能な自然エネルギーに転換!

高橋はるみ知事は、8月17日、泊原発3号機の営業運転再開を「容認」した。福島第一原発の深刻な事故以降、全国で初めてのことである。道民の安心と安全を守るべき知事が、泊原発でひとたび事故が起きた時に、道民の命や北海道の豊かな大地を守ることができなくなるのか。道本部は8月18日、声明(左)を出し、来年3月11日にむけた署名や集会の成功をめざす「さようなら原発1000万人アクション」に全力をあげる。

原水禁世界大会

核も原発も、基地もいらない

4月の北海道知事選挙で、私たちが推薦した木村としあき候補は、地域防災計画の見直しと脱原発を訴えた。その根拠は道民の生命と安全を守ることだったが、現職に圧

倒的な大差で惨敗した。世論調査によると道民の70%が脱原発を望んでいる。高橋知事は、多くの道民の支持を受けた以上、道民の声にしっかりと傾けるべきである。私たちは、福島原発事故1年となる来年3月11日むけて、「さようなら原発1000万人アクション」に全力をあげる。

【ナガサキ大会】
ナガサキ大会は、8月7日、「さようなら原発1000万人アクション」長崎大会」からはじまり、爆心地公園県立総合体育館までの道のりを、「核も原発もいらない」「福島の子どもたちを守れ」などと訴えた。

【オキナワ大会】
大会の最後となった沖縄大会には約320人が参加した。大会では、「命の危険を地域に押し付けて、『国策』の名の下に政策が進められる点では、原発も基地も同じ」であるとして、「命」を大切にすることを確認した。

【オキナワ大会】
大会の最後となった沖縄大会には約320人が参加した。大会では、「命の危険を地域に押し付けて、『国策』の名の下に政策が進められる点では、原発も基地も同じ」であるとして、「命」を大切にすることを確認した。

北海道の最低賃金改定

691円(+14円) → 705円

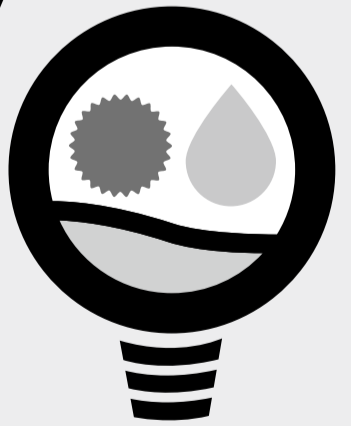
※2011年10月6日発行(予定)

脱原発・持続可能で平和な社会をめざそう!

さようなら原発
1000万人アクション in 北海道
2011.9.18 10:00-12:00
[日]

場所: 札幌芸術文化の館(旧厚生年金会館)ロイヤルホール
集会のあと、デモ行進に出発! ———— デモのみ参加の方は11:00に大通公園12丁目に集合!

さようなら原発 [全国集會] 2011.9.19 [月]
東京 明治公園にて5万人集會・パレード



全国集會の呼びかけ人

内橋 克人 大江健三郎
坂本 龍一 鎌田 慧
澤地 久枝 瀬戸内寂聴

主催:「さようなら原発 1000万人アクションin北海道」実行委員会

事務局: 北海道平和運動フォーラム / ほっかいどうピースネット / 安房廃棄北海道実行委員会
連絡先: 北海道平和運動フォーラム 〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル2F TEL.011-231-4157

http://www.peace-forum.net/bloguec/

